



第91期 中間報告書

2017年4月1日 > 2017年9月30日

CONTENTS

グループビジョン	1
第91期第2四半期事業活動について	2
事業別営業概況	3
トピックス	5
連結財務諸表	7
株式の概要	9
会社概要	10
株式についてのご案内	裏表紙

 三菱ガス化学株式会社

証券コード：4182





「社会と分かち合える価値の創造」を追求し、
ステークホルダーの皆様の期待に応えて
いきます。

代表取締役社長 倉井敏磨

グループビジョン

「社会と分かち合える価値の創造」

中期経営計画

「MGC Advance2017」

基本方針

1. 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化
2. 不採算事業の再構築
3. 新規事業の創出と育成
4. グループ全体の経営効率改善
5. 持続的成長を支える<質>の向上

第91期第2四半期事業活動について

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第91期第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の事業活動についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日～2017年9月30日）における世界経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、米国の政策動向や世界的な地政学リスクの高まりなどの懸念材料もあり、先行きについては不透明な状況が続きました。国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善が継続するなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの売上高は、機能化学品、芳香族化学品の販売数量が増加したことに加え、メタノールの市況上昇や円安もあり、増収となりました。

営業利益は、機能化学品、芳香族化学品の販売数量増加に加え、高純度イソフタル酸、メタノール誘導品の市況上昇や円安もあり、増益となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことに加え、為替差損益の改善や海外メタノール生産会社に係る持分法利益が増加したこともあり、増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことなどにより、増益となりました。

以上の結果、売上高3,029億円（前年同期比350億円増（13.1%増））、営業利益302億円（前年同期比109億円増（57.1%増））、持分法利益104億円（前年同期比29億円増（38.7%増））、経常利益420億円（前年同期比173億円増（70.3%増））、親会社株主に帰属する四半期純利益354億円（前年同期比168億円増（90.9%増））となり、第2四半期連結累計期間として、売上高および各利益段階で過去最高値を更新いたしました。

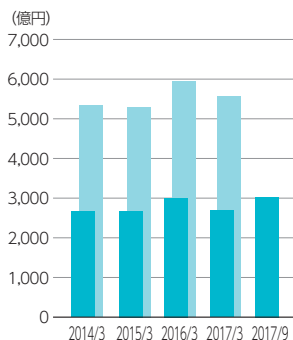
なお、株主様への還元の充実、資本効率の向上および機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得（総額70億円（上限）、250万株（上限））および消却（1,000万株）を決定しました。

また、当期の中間配当金は、前期中間配当金^(注)に比べて8円増配の24円といたしました。

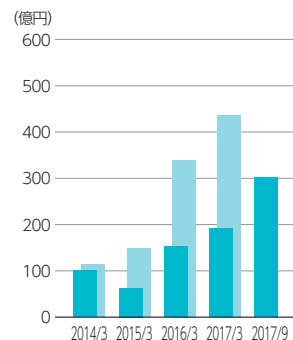
株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2017年12月

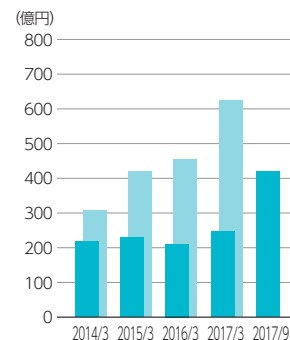
売上高



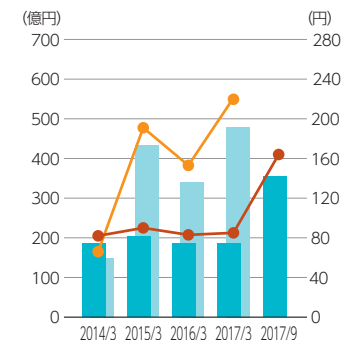
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益/ 1株当たり四半期(当期)純利益^(注)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期 ● 1株当たり四半期純利益 ● 1株当たり当期純利益

(注) 当社は、2016年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前期中間配当金および1株当たり四半期(当期)純利益は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

事業別営業概況

(2017年4月1日～2017年9月30日)

天然ガス系化学品事業

主要製品 メタノール、アンモニア、メチルアミン、MMA、多価アルコール 等



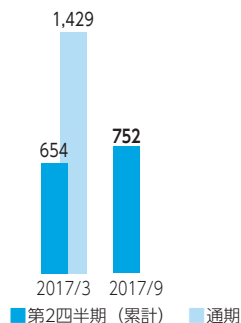
メタノールは、市況が低い水準であった前年同期に比べ回復し、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の上昇がありました。ネオペンチルグリコールやMMA系製品の市況が上昇したことなどから、増益となりました。

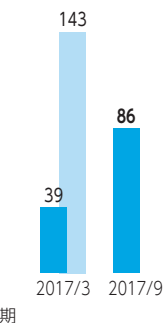
原油その他のエネルギー販売は、原油販売価格の上昇により、前年同期をやや上回る増益となりました。

以上の結果、売上高752億円（前年同期比97億円増（15.0%増））、営業利益22億円（前年同期比18億円増（472.8%増））となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を66億円計上した結果、経常利益は86億円（前年同期比46億円増（118.5%増））となりました。

売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



24.9%

2017年度
3,029

34.5%

芳香族化学品事業

主要製品 メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒド、発泡プラスチック 等



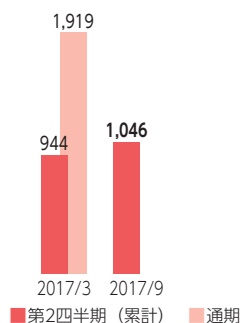
特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売数量が増加したことなどにより、増収増益となりました。

汎用芳香族化学品は、新興国を中心にPETボトル向けの需要が増加している高純度イソフタル酸の市況が上昇したことに加え、休止していたメタキシレン生産装置1系列の再稼働による販売数量の増加もあり、増収増益となりました。

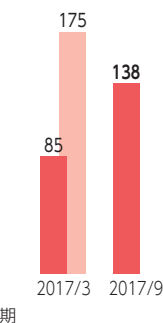
発泡プラスチック事業は、販売数量の増加や原材料価格上昇に伴う製品価格改定により売上高は増加したものの、原燃料価格の上昇などにより前年同期並みの増益となりました。

以上の結果、売上高1,046億円（前年同期比102億円増（10.8%増））、営業利益142億円（前年同期比51億円増（57.4%増））、経常利益138億円（前年同期比53億円増（62.2%増））となりました。

売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



機能化学品事業

主要製品 過酸化水素、電子工業用薬品、ポリカーボネート樹脂、ポリアセタール樹脂 等

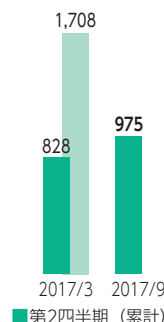


無機化学品は、半導体市場の拡大に伴い、半導体向け薬液の販売数量が増加したことなどにより、増収増益となりました。

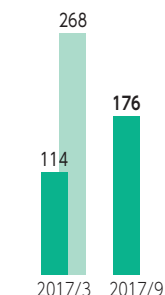
エンジニアリングプラスチックスは、ポリカーボネート、ポリアセタールおよびポリカーボネートシート・フィルムの販売数量が増加したことに加え、中国を中心に堅調な需要が続くポリカーボネートの市況上昇もあり、増収増益となりました。

以上の結果、売上高975億円（前年同期比147億円増（17.8%増））、営業利益138億円（前年同期比41億円増（43.2%増））となりました。また、エンジニアリングプラスチックス関連会社を中心とする持分法利益を32億円計上した結果、経常利益は176億円（前年同期比61億円増（54.1%増））となりました。

売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



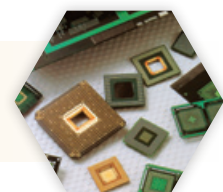
■ 第2四半期 (累計) ■ 通期

第2四半期
累計売上高
32.2%
億円

8.3%

特殊機能材事業

主要製品 プリント配線板用材料、脱酸素剤 等

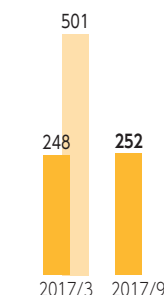


電子材料は、日本サーキット工業(株)が前期9月末に解散したことにより売上高は前年同期並みとなりましたが、主力の半導体パッケージ向けBT材料の販売数量がメモリー向けを中心に堅調に推移し、増益となりました。

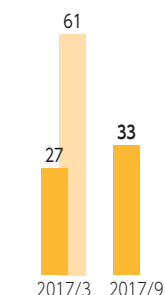
「エージレス®」等の脱酸素剤は、輸出を中心に販売数量は増加しましたが、損益は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、売上高252億円（前年同期比3億円増（1.5%増））、営業利益24億円（前年同期比3億円増（17.9%増））となりました。また、持分法利益を5億円計上した結果、経常利益は33億円（前年同期比6億円増（24.0%増））となりました。

売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



■ 第2四半期 (累計) ■ 通期

トピックス

特殊ポリカーボネートの開発で「市村産業賞 本賞」を受賞

本年4月に、産業分野の進展に貢献・功績のあった技術開発者やグループに贈られる市村産業賞(公益財団法人新技術開発財団)において、最高賞となる「本賞」を受賞しました。対象となった技術は、「高屈折率・低複屈折特殊ポリカーボネート樹脂の開発」で、基礎原料や誘導品を製造する化学メーカーの受賞は初めてのことです。



市村産業賞本賞受賞記念の盾

- 本技術により、以下の賞も受賞しました。
- 第48回 日化協技術賞 総合賞
(一般社団法人日本化学工業協会)
 - 第65回 化学技術賞
(公益社団法人日本化学会)



市村産業賞の記念祝賀会

「高屈折率・低複屈折特殊ポリカーボネート」とは？

当社が開発した特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EPシリーズ」は、光学性能と生産性、環境性能を併せ持つ材料で、スマートフォンやタブレットのカメラレンズなどの小型化・高画素化に貢献する樹脂として高いシェアを有しています。今後は、車載カメラや監視カメラ、ゲーム機、医療デバイス、ドローンなど、さまざまな用途への展開が期待されています。

北米に超純過酸化水素の工場新設を決定

超純過酸化水素の製造・販売を行うMGC Pure Chemicals America, Inc.の新工場を米国オレゴン州およびテキサス州の2か所に新設することを決定しました。

当社グループは、国内3拠点、海外4拠点に超純過酸化水素の製造拠点を構え、世界最高レベルの品質とそれを保証する分析・品質保証体制を有するリーディングカンパニーとして多くの顧客と取引を拡大してきました。新工場の建設により、北米における超純過酸化水素の製造拠点を3カ所とし、生産能力を倍増することで、半導体産業のさらなる成長に貢献します。



新工場起工式

「超純過酸化水素」とは？

主に半導体のウエハやデバイスの製造工程で、洗浄・エッチング・研磨剤として使用される薬液です。IoTやAIによる用途拡大に伴い、半導体市場は今後も長期的な成長が見込まれ、超純過酸化水素の需要も拡大することが期待されています。

「QOLイノベーションセンター白河」竣工

本年4月に、当社グループの新たな製造・研究開発拠点として、福島県白河市にある「工業の森・新白河B工区」に「QOL*イノベーションセンター白河」を竣工しました。第一期では、食品や医薬品の劣化を防ぐ脱酸素剤「エージレス®」、情報電子分野などで使用される機能性フィルム・シートの工場を稼働させました。生活の質を高めるためのさまざまな差異化製品をイノベートし、グループビジョン「社会と分かち合える価値の創造」を実現させるための一大拠点としていきます。

*QOL:Quality of Life(クオリティ オブ ライフ)の略



ご案内

本年9月10日、テレビ東京系列特別番組「新流」で当社が紹介されました。



環境負荷低減に役立つ製品を「MGCグループ環境貢献製品」として、ご紹介しています。



当社WEBサイト (<http://www.mgc.co.jp/>) もご覧下さい。
放映内容の動画や詳しい環境への貢献内容をご紹介します。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

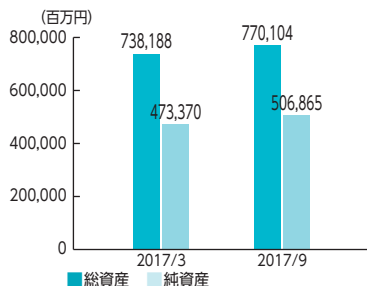
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2017年9月30日現在)	前期 (2017年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	356,460	326,674
現金及び預金	80,017	75,017
受取手形及び売掛金	158,888	138,410
有価証券	183	139
たな卸資産	100,392	94,630
その他	16,978	18,476
固定資産	413,643	411,513
有形固定資産	219,079	218,057
建物及び構築物	80,746	79,594
機械装置及び運搬具	79,919	81,147
その他	58,412	57,315
無形固定資産	8,501	8,370
投資その他の資産	186,062	185,085
投資有価証券	176,293	175,461
その他	9,769	9,623
① 資産合計	770,104	738,188

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2017年9月30日現在)	前期 (2017年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	196,153	188,426
支払手形及び買掛金	83,567	68,506
短期借入金	70,034	74,669
その他	42,551	45,250
固定負債	67,085	76,391
社債	10,000	10,000
長期借入金	24,419	33,495
その他	32,666	32,895
② 負債合計	263,238	264,817
(純資産の部)		
株主資本	443,033	412,989
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,946	35,602
利益剰余金	387,951	357,245
自己株式	△21,834	△21,829
その他の包括利益累計額	13,938	11,722
その他有価証券評価差額金	18,619	18,101
為替換算調整勘定	△4,514	△6,249
その他	△166	△128
非支配株主持分	49,892	48,658
③ 純資産合計	506,865	473,370
負債・純資産合計	770,104	738,188

■ 総資産／純資産



① 資産合計

受取手形及び売掛金や、有形固定資産が増加したことなどにより、増加しました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金が増加しましたが、借入金が減少したことなどにより、減少しました。

③ 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことなどから、増加しました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2017年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2016年4月1日から 9月30日まで)
4 売上高	302,943	267,935
売上原価	227,300	205,896
販売費及び一般管理費	45,375	42,769
5 営業利益	30,267	19,269
営業外収益	14,475	10,211
営業外費用	2,734	4,813
6 経常利益	42,008	24,668
特別利益	893	201
特別損失	511	263
税金等調整前四半期純利益	42,391	24,605
法人税等	4,154	3,189
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,783	2,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,453	18,571

4 売上高

機能化学品、芳香族化学品の販売数量が増加したことに加え、メタノールの市況上昇や円安もあり、増収となりました。

5 営業利益

機能化学品、芳香族化学品の販売数量増加に加え、高純度イソフタル酸、メタノール誘導品の市況上昇や円安もあり、増益となりました。

6 経常利益

営業利益が増加したことに加え、為替差損益の改善や海外メタノール生産会社に係る持分法利益が増加したこともあり、増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2017年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2016年4月1日から 9月30日まで)
税金等調整前四半期純利益	42,391	24,605
減価償却費	13,157	12,296
持分法による投資利益	△10,499	△7,569
持分法適用会社からの 配当金の受取額	10,990	7,359
運転資金等	△10,959	11,221
法人税等の支払額または還付額	△3,161	△1,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,919	46,208
設備投資資金等	△16,944	△14,075
投融資資金等	219	△1,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,725	△15,549
借入金・社債増減額等	△16,404	△28,290
自己株式の取得による支出	△5	△6,256
配当金支払額	△4,747	△3,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,157	△38,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△5,206
現金及び現金同等物の増減額	4,065	△12,628
現金及び現金同等物の期首残高	67,177	75,828
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,242	63,200

株式の概要

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 492,428,000株

発行済株式の総数 241,739,199株

株主数 18,341名

上場取引所 東京証券取引所第一部 (証券コード：4182)

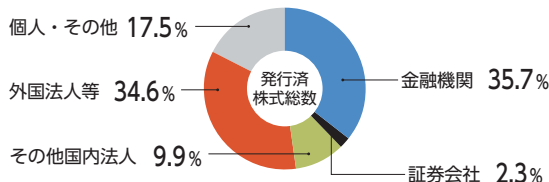
大株主

株主名	持株数 (千株)	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9,565	4.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,809	4.1%
日本生命保険相互会社	8,795	4.1%
明治安田生命保険相互会社	8,397	3.9%
農林中央金庫	5,026	2.3%
旭硝子株式会社	4,835	2.2%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	3,792	1.8%
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,506	1.6%
GOVERNMENT OF NORWAY	3,430	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	3,400	1.6%

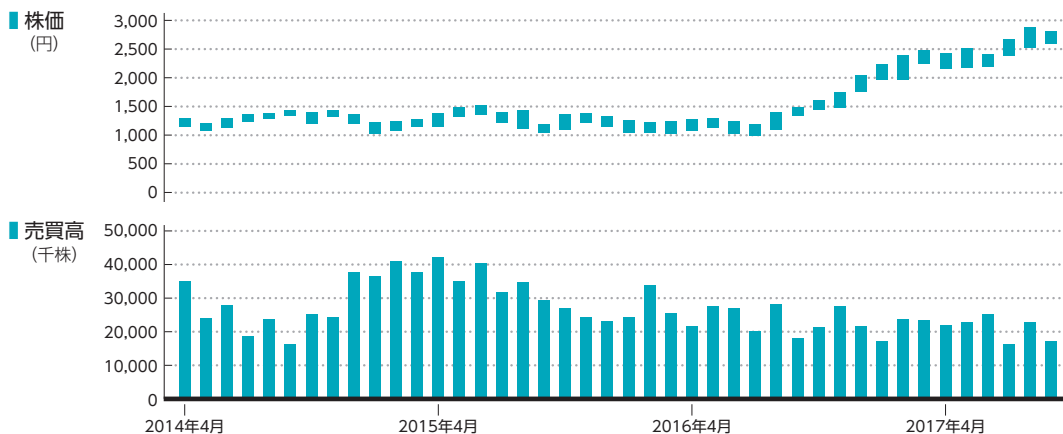
(注) 1. 当社は自己株式を25,925千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

2017年11月15日に自己株式の消却を行っており、同日付で発行済株式の総数は231,739,199株となりました。

所有者別分布状況



株価等の状況



※当社は、2016年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、上記のグラフの2016年9月以前における株価および売買高は、2014年4月の月初に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

会社概要

(2017年9月30日現在)

社 名 三菱ガス化学株式会社
(登記商号：三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

資 本 金 419億7千万円

従 業 員 数 2,293名 (連結：8,112名)

本 社 〒100-8324
所 在 地 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル

事 業 所 営業所：大阪支店

研究所：東京テクノパーク (東京研究所、
MGC分析センター)、新潟研究所、
平塚研究所

創 業 大正7 (1918) 年1月15日

設 立 昭和26 (1951) 年4月21日

工 場：新潟工場、水島工場、四日市工場、
山北工場、鹿島工場

役 員	代表取締役 会長	酒 井 和 夫	取締役 常務執行役員	稲 荷 雅 人	執行役員	堀 口 和 秀	理 事	満 田 信 一
	代表取締役 社長	倉 井 敏 磨	取締役 社外	谷 川 和 生	執行役員	大 久 保 知 彦		
	代表取締役 専務執行役員	河 邦 雄	取締役 社外	佐 藤 次 雄	執行役員	太 田 貴 夫	監 査 役 非常勤・社外	木 村 高 志
	代表取締役 専務執行役員	稲 政 顕 次			執行役員	大 塚 裕 之	監 査 役	渡 邊 哲 志
	取 締 役 常務執行役員	城 野 正 博	執行役員	久 保 田 千 春	執行役員	有 吉 伸 久	監 査 役	杉 田 克 彦
	取 締 役 常務執行役員	佐 藤 康 弘	執行役員	高 木 俊 哉	執行役員	加 藤 賢 治	監 査 役 非常勤・社外	松 山 保 臣
	取 締 役 常務執行役員	藤 井 政 志	執行役員	築 地 永 治	執行役員	茅 野 義 弘		
	取 締 役 常務執行役員	吉 田 晋	執行役員	平 本 欣 司	執行役員	長 岡 成 之		
	取 締 役 常務執行役員	水 上 政 道	執行役員	藤 井 弘 也	執行役員	寺 岡 康 郎		

連結子会社 (71社)

木江ターミナル(株)
(株)日本ファインケム
(株)JSP
JSP INTERNATIONAL GROUP LTD.
フドー(株)
永和化成工業(株)
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE. LTD.
三永純化(株)
巨菱精密化学股份有限公司
MGCフィルシート(株)

THAI POLYACETAL CO., LTD.
三菱瓦斯化学工程塑料(上海)有限公司
MGCエレクトロテクノ(株)
MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO., LTD.
(株)東京商会
菱江化学(株)
菱陽商事(株)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
MGC MONTNEY HOLDINGS LTD.

他 50社

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： http://www.mgc.co.jp/ir/public_notices/
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (注) 株主名簿管理人および特別口座の管理機関の事務拠点の移転に伴い、 2017年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

ホームページではさまざまな
情報をご覧いただけます。



<http://www.mgc.co.jp/>

株式に関するマイナンバー制度のご案内

マイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますため、株主様から、お取引の証券会社等へご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、株式に係る各種支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

- 1) 証券会社の口座にて株式を管理されている株主様
…お取引の証券会社にお申し出ください。
- 2) 証券会社とのお取引がない株主様
…三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
連絡先：右記2) ご参照

株式に関するお問い合わせ先

- 1) 証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
お取引の証券会社等にお問い合わせください。

(注) なお、支払期間経過後の配当金支払、郵送物の発送に関するご照会については、下記の特別口座の場合の連絡先をご利用ください。

- 2) 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお問い合わせください。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)

特別口座に関する手続用紙

音声自動応答電話によるご請求：

電話 (0120) 244-479 (フリーダイヤル)

インターネットによるダウンロードURL：

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

